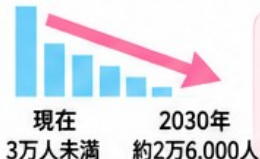


子育てしやすいまちへ、いま何が必要か ～市民の声をもとに、3つの課題を質問～

1. 現状と問題意識

平川市の人口は3万人を割り込み、2030年には約2万6,000人に減少見込み。特に15～49歳の若者・女性（子育て世代）が年間約250人のペースで減少しています。



議員は「子育て世代の減少こそ、今そこにある危機」と考え、平賀・尾上の新興住宅地に住む約60人の子育て世代にヒアリングを実施しました。



2. 子育て世代の主な声（約60人のヒアリングより）

① 小児科医院を市内に開設してほしい



- ・弘前市の小児科はいつも混雑
- ・すぐに連れて行ける安心感がほしい
- ・通院にかかる費用を抑えたい

② 屋内でも子どもたちが遊べる大型施設がほしい



- ・特に冬場に思い切り遊べる場所がない
- ・天候に左右されず遊ばせたい
- ・イオンタウン平賀にあれば、買い物と合わせて利用できる

③ 外食チェーン店を誘致してほしい



- ・共働きで疲れて食事を作りたくない
- ・学校行事後の親睦会や情報交換の場として利用したい
- ・市内に気軽に利用できる店がほしい

その他の要望

子どもの成長に合わせた経済的支援の拡充

通勤や部活動などの子どもたちの送迎サービス

3. 一般質問の主な質疑応答

(1) 小児科医院の誘致について



これまで小児科医院の誘致に取り組んだ実績はあるか。今後取り組む場合、どのようなプロセスや課題があるか。また、他自治体のように開設費の助成制度をつくるべきではないか。



市内に小児科の専門医院はないが、小児科を診療科目とする医院が3か所ある。これまで誘致の実績はない。



誘致に必要なプロセス

- ・医療ニーズの把握・分析
- ・土地・建物の準備、開業資金・補助制度の確立
- ・県内の医療機関との連携、県内外への情報発信

主な課題

- ・医師・看護師・薬剤師などの医療スタッフの確保
- ・医師定住のための住宅環境の整備
- ・既存の医療機関との協議
- ・医師不足は全国的な問題であり、実現には時間と労力が必要



議員（再質問・意見）

黒石市や北海道北広島市のように、開業費を助成する制度を立ち上げ、誘致に取り組むべきではないか。子育て世代からの強い要望であり、人口減少対策のためにも、課題を一つ一つ解決し、実現に向けて取り組んでほしい。

ポイント

- ▶ 小児科専門医院の誘致は未実績。医師・スタッフ確保や住宅環境、既存医院との協議など課題が多い。
- ▶ 議員は助成制度の創設など、積極的な取り組みを求めた。

(2) 屋内でも子どもたちが遊べる大型施設について



尾上庁舎で検討しているが、平賀地区からはイオンタウン平賀にも設置してほしいとの要望がある。設置の可能性はあるか。また、設置に向けたプロセスや課題は何か。



尾上分庁舎の利活用の中で、親子の集いの場を含め検討中である。今後、市民や専門家の意見を伺いながら設計を進める。イオンタウン平賀への設置は考えていない。



健置に向けたプロセス

- ・市民ニーズの把握と分析
- ・施設規模・設備の絞り
- ・職員配置や安全対策を考慮した運営方法の決定
- ・イオンタウン平賀との協議

主な課題

- ・設置費用や人件費を含む管理運営費の負担
- ・事故を予防するためのリスク管理
- ・利用マナーや騒音などの問題



議員（再質問・意見）

気候や天候に左右されず、子どもの健康や教育、親子のコミュニケーションにとって重要である。尾上庁舎だけでなく、イオンタウン平賀への設置も検討に値する。課題を一つ一つ解決し、設置に向けて取り組んでほしい。

ポイント

- ▶ 尾上分庁舎で親子の集いの場を検討中。イオンタウン平賀への設置は現時点で考えていない。
- ▶ 設置には費用・運営体制・安全対策・協議などの課題がある。
- ▶ 議員は必要性を強調し、実現に向けた取り組みを求めた。

(3) 外食チェーン店の誘致について



これまで誘致の実績はあるか。今後取り組む場合に想定されるプロセスや課題は何か。誘致の際に補助事業などの支援を行う予定はあるか。



市が誘致した実績はない。民間事業者が試みた事例はあるが、外食店側の立地に関する借地期間の条件で折り合いがつかなかったと伺っている。



想定されるプロセス

- ・外食チェーン店側によるマーケティング調査
- ・各社の手法でのアプローチ

主な課題

- ・当市は弘前市・黒石市と商圏が重なっており、厳しい評価となることが想定される。
- ・立地条件、交通アクセス、人口動態などが影響する。

補助事業等の支援

- ・中小企業向けの「空き店舗対策事業補助金」を設け、平成28～令和4年度に12件の飲食店が活用して開業。
- ・フランチャイズ店舗や大手企業の誘致に対する新たな補助制度は現時点で考えていない。



議員（再質問・意見）

当市の魅力や特色を積極的にアピールし、開発事業用地の情報提供などを行い、誘致の実現を強く求める。にぎわいある中心市街地の整備も重要であり、全庁を挙げて取り組んでほしい。

ポイント

- ▶ 市の誘致実績はなく、民間の取組も立地条件で断念。商圏の重なりや人口規模などが課題。中小企業向け補助金はあるが、大手チェーンへの新たな補助制度は考えていない。
- ▶ 議員は魅力発信や中心市街地の整備を含めた積極的な誘致を求めた。

➡ 議員のまとめ 子育て環境の充実、人口減少を食い止め、未来の平川市をつくるために不可欠です。市には、課題を一つずつ解決し、実現に向けて積極的に取り組むことを強く求めました。